

製品名: Raf-B (リン酸化 Thr401) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21163**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:84kD;Observed MW:84kD

抗原情報

遺伝子名	BRAF
別名	BRAF;BRAF1;RAFB1;Serine/threonine-protein kinase B-raf;Proto-oncogene B-Raf;p94;v-Raf murine sarcoma viral oncogene homolog B1
遺伝子 ID	673.0
SwissProt ID	P15056
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

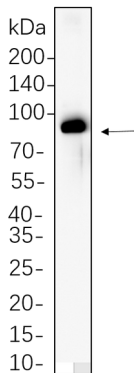
背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は、セリン / スレオニンプロテインキナーゼの raf/mil ファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、細胞分裂、分化、分泌に影響を与える MAP キナーゼ / ERK シグナル伝達経路の制御に関与しています。この遺伝子の変異は、心不全、知的障害、および特徴的な顔貌を特徴とする疾患である心顔皮膚症候群と関連しています。また、この遺伝子の変異は、非ホジキンリンパ腫、大腸がん、悪性黒色腫、甲状腺がん、非小細胞肺がん、肺腺がんなど、様々ながんとの関連も報告されています。この遺伝子には、X染色体上に位置する偽遺伝子が同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを Raf-B (リン酸化 Thr401) ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG (H + L) 抗体を用いた。